

NT (準絶滅危惧)

トゲウオ目 トゲウオ科

カテゴリー判定基準：a), b)

トミヨ属汽水型

Pungitius sp. 3

旧レッドリストカテゴリー		
1991	1999	2007
—	—	NT

本種は日本では北海道東部の河川の汽水域に分布に限られる。本種の生息場所である河川の改修や湿地開発にともなって、河川の河口から下流域に広がるエスチュアリーへの減少が進行している (13、15-1)。また、河川開発によって、河口域から下流域にかけての水質環境が悪化し、個体群サイズの減少が進行している (31)。また、トミヨ属淡水型との同所的な生息地では、低い割合ではあるが交雑が生じている (57-2)。

参考文献

- Arai, T. and A. Goto, 2008. Diverse migratory histories in a brackish water type of ninespine stickleback, *Pungitius pungitius*. *Environ. Biol. Fish.*, 83: 349-353.
- Takahashi, H. and A. Goto, 2001. Evolution of East Asian ninespine sticklebacks as shown by mitochondrial DNA control region sequences. *Mol. Phylogenet. Evol.*, 21: 135-155.
- Takahashi, H., T. Nagai and A. Goto, 2005. Hybrid male sterility between fresh- and brackish-water types of ninespine stickleback *Pungitius pungitius* (Pisces, Gasterosteidae). *Zool. Sci.*, 22: 35-40.
- Takahashi, H., T. Tsuruta and A. Goto, 2003. Population structure of two ecologically distinct forms of ninespine stickleback, *Pungitius pungitius* (L): gene flow regimes and genetic diversity based on mtDNA sequence variations. *Can. J. Fish. Aquat. Sci.*, 60: 421-432.
- Takata, K., A. Goto and F. Yamazaki, 1987. Biochemical identification of a brackish water type of *Pungitius pungitius*, and its morphological and ecological features in Hokkaido, Japan. *J. Ichthyol.*, 34: 176-183.

執筆：後藤 晃 (元北海道大学)

ダツ目 サヨリ科

カテゴリー判定基準：b)

コモチサヨリ

Zenarchopterus dunckeri Mohr, 1926

旧レッドリストカテゴリー		
1991	1999	2007
—	—	NT

背鰭は10~12軟条、臀鰭は10~13軟条、胸鰭は10軟条、背鰭前方鱗数は27~30枚。鼻孔に肉質の長い突起がある。尾鰭後縁は截形もしくはわずかに円い。オスは背鰭の第4・第5鰭条のいずれかまたは両方が伸長する。また、臀鰭の第6鰭条が肥厚・伸長する。体長13cmに達する。尾鰭後縁の形状 (他種では湾入もしくは截形) により、日本産の他のサヨリ科魚類からの識別は容易。八重山諸島と宮古諸島に分布する。国外では東部インド洋から西部太平洋の熱帯域にかけて知られる。表層や中層を群れで遊泳し、プランクトン動物や水面の昆虫などを食べる。胎生で、稚魚は夏から秋にかけて現れる。河川汽水域で一生を過ごす純汽水魚。生息地では、河口付近における橋の付け替え (24)、道路工事 (24)、土地造成 (23) による土砂の流出、リゾート開発 (23) に起因する生活排水による水質汚濁 (31) や底質のヘドロ化 (31) が進行している。直接的な保全策はまったく取られていない。

参考文献

- 藍澤正宏・土居内龍, 2013. サヨリ科. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索: 第三版, pp. 651-654, 1927-1928. 東海大学出版会, 秦野.
- Collett, B. B. and J. Su, 1986. The halfbeaks (Pisces, Beloniformes, Hemiramphidae) of the Far East. *Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia*, 138(1): 250-302.
- Meguro, K., 1972. Northernmost record of the ovoviviparous halfbeak, genus *Zenarchopterus*, from Okinawa Prefecture, Japan, with some morphological notes. *Japanese Journal of Ichthyology*, 19(3): 186-190.
- 瀬能宏, 2005. コモチサヨリ. 川那部浩哉・水野信彦・細谷和海 (編), 日本の淡水魚: 第3版, pp. 423, 425. 山と溪谷社, 東京.
- 鈴木寿之・瀬能宏, 2004. 西表島の陸水性魚類に迫る絶滅の危機. *魚類学雑誌*, 51(1): 72-74.

執筆：瀬能 宏 (神奈川県立生命の星・地球博物館)